

令和元年度 いばら保育園自園評価  
【保育の理念 保育観】

A 良い B 一部検討を要する C 改善を要する

	A	B	C	意見 改善
問1 いばら保育園は、理念や目標に基づいて保育をしている	100%	0%	0%	入園時には、保護者に園の保育理念、保育目標を伝え、保育士は、保育理念に基づき個人目標をたて保育を行っている
問2 入園している子どもの保育だけでなく、地域の子育て支援をするという社会的役割もあることを意識し保育している	100%	0%	0%	
問3 年間計画、年間行事の見直しをしている	93%	7%	0%	保育所保育指針に基づき年間保育計画・月週案を作成し、保育目標に対して、『何ができないではなく』子どもの心情・意欲・態度の形成を意識し振り返りを行っている
問4 月週案は実際の子供の姿から、自分の保育を評価、反省するものになっている	93%	7%	0%	
問5 発達に必要な経験が得られるような環境構成が工夫されている	87%	13%	0%	活発に活動する時 静かに活動する時など、バランスやリズムに配慮した環境を整えて、子どもが興味をもち、自ら遊びや活動を始められるような遊具や用具など置く環境を整えたいと考える
問6 異年齢保育は、子どもたちの楽しい交流の場となっている	100%	0%	0%	
問7 遊具・用具など活用しやすいように整理保管している	60%	40%	0%	食事は栄養バランスのよい食事提供だけではなく、食に関わることを子どもの生活の一部と考え給食従事者と保育士で意見交換の場の持ち方を今後、より考えていきたい
問8 食について保育士と給食従事者が意見交換の場を持ち連携して食育活動をしている	80%	20%	0%	

【個人情報保護】

問9 業務上で知り得た子どもの情報に関する守秘義務について全職員で周知している	100%	0%	0%	守秘義務の周知や徹底に努めると共に書類など個人情報に関するものに関しては鍵のかかる場所に保管している
---	------	----	----	--

【行事について】

問10 日本の伝統や四季を味わい 楽しめる行事になっている	53.3%	46.7%	0.0%	昔の人が厚く深い思いを込めた意味のある日本の行事は、子どもたちと準備しながら、由来を話し楽しみにしながら進めている
問11 計画 実施 評価 改善の体制をとっている	93.3%	6.7%	0.0%	が、行事のための保育になることもあるため、日頃の保育の線上市に行事があることを意識していきたい

【経営 組織】

問12 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっている	93%	7%	0%	職員が意見や思いを発言し話し合うが、十分に時間を持たず、会議が伸びることがある。限られた時間で有意義な会議ができる体制をつくる
問13 職員会議回数 時間 内容は適切か	47%	20%	33%	
問14 避難訓練 交通安全指導を計画的に実施してる	60%	33%	7%	安全に関しては、避難訓練、交通安全だけでなく遊具の使い方や、やってはいけない事のルールなど、してはいけない理由をきちんと伝え、子どもが自発的に動けるように関わるようにしている
問15 園内外の研修などで学んだ知識や技術をクラスや園で共有する機会がある	60%	33%	7%	

問16 クラスや担当での問題や課題は、他のクラスや園全体で共有されている	80%	20%	0%	相談、報告、連絡など職員全体が共有できるようにし、園全体の質が向上できるようにしている
問17 自分のミスや失敗を躊躇せず、報告・相談することができる	100%	0%	0%	
問18 職務上困ったことがあれば、相談し話し合える仲間がいる	100%	0%	0%	
問19 保育技術や保育感を職場内で伝え受け継ぐ文化がある	80%	20%	0%	

### 【園内研修】

問20 指導して頂いた園内研修は保育に活かしている	100%	0%	0%	園の方針や目標に基づいて、目指す子ども像や身につけてほしい資質や能力に基づいて、計画を立て保育をしている。計画に基づき、日頃より子どもの姿育ちを話しあい職員間で保育を高めている。また、外部より講師をお願いし公開保育や勉強会を開いている
問21 保育や子どものことを話す環境になっている	100%	0%	0%	
問22 園内研修は、保育を高めることができている	100%	0%	0%	
問23 園内研修は共有意識を高めることができている	100%	0%	0%	

### 【情報について】

問24 給食が楽しく食べれるように工夫されている	80%	20%	0%	見た目の工夫や旬の食材を取り入れ、食べる事の意欲を高めている。また、給食室の栄養士や調理員は栄養管理や食事の提供だけではなく、子どもと食事を一緒にする時間も持ち交流する機会を持っている アレルギー児の把握、食器の個別化や厨房と保育室でダブルチェックしている。 専門的知識を生かし、より保育の食育の環境を高めたり、保護者や地域との連携を高めていきたいと考えている
問25 食育を通して子ども達が食に興味を持てるようにしている	80%	20%	0%	
問26 アレルギー除去の対応をしている	100%	0%	0%	
問28 衛生管理は徹底している	93%	7%	0%	

### 【開かれた保育園づくり】

問29 幼稚園小学校と連携し、交流する機会を持っている	100%	0%	0%	年間3回、近隣の幼稚園 保育園との交流をしている 次年度は、6月に当園で行う予定である
問30 地域の方との関係が適切に保たれている	100%	0%	0%	
問31 地域の自然と関わる場を大切にしている	100%	0%	0%	

地域の方との交流や施設への訪問をしている、今年度も予定しているが、コロナウイルス感染拡大により延期している  
(本町ともカフェ 地域高齢者交流会)

【職員育成】

問32 職員の質の向上に努めている	100%	0%	0%	専門性を高めるため、積極的に園内外での研修の参加している自己評価が園の保育の中に位置付けて活用できるようにし、また今年度の課題について話し合いを行い資質の向上に努めていきたい
-------------------	------	----	----	---